

ポスト・スハルト期インドネシアにおける政治とビジネス

平成 22 年度 3 年次編入

参加したフィールドスクール：タイフィールドスクール

調査国：インドネシア

小西 鉄

キーワード： インドネシア、ポスト・スハルト期、経済・通商政策、実業家、財界団体

自分の研究テーマについて

先行研究の議論では、スハルト権威主義体制下の経済政策において、土着企業を保護しようとする官僚・経済ナショナリズムと、外資を導入して国家を投資調整の中心に据え自由主義経済を志向するテクノクラートとの対立軸があったとされる (R.Robison[1987]、Kawamura[2008])。また、R.Robison & V.Hadiz[2004]や A.Rosser[2004]の研究によれば、スハルト期に形成されたパトロン・クライアント関係に基づく政治は 98 年のスハルト退陣後にも再編されて継続され、市場が政治的に構築されているにすぎず、依然自由主義が歪んでいるとされる。

近年の政治経済動向を見てみると、スハルト退陣を機に国家主導の開発の時代から多様なアクターによる経済の時代へという変容し、著しい経済成長をもたらされた。注目すべきは、2004 年ユドヨノ第 1 次政権以降の経済・通商政策である。この頃、経済閣僚に実業家出身者を据えた布陣の下、日本との経済連携協定、中国と ASEAN の自由貿易協定といった自由貿易化や ASEAN での関税撤廃の実施など地域経済統合の動きのほか、2006 年「国家エネルギー戦略」に見られるような脱石油依存のための石炭産業へと傾斜した。

しかし、これらの政策がどのような政治過程で形成されていったのかについて実証した研究はない。

そこで本研究は、貿易と石炭産業をアリーナとした政治過程を、実業家出身の経済閣僚および商工会議所といった財界団体に着目することで検証し、インドネシア政治経済分析に新たな知見を提供することを目指す。



左：輸出用機器類の船への積み込み (2010 年 10 月 15 日、ジャカルタ)



右：経済発展に伴う交通渋滞 (2010 年 10 月 22 日、ジャカルタ)

フィールドスクールで得られた知見について

タクシン政権期、グローバル化と自由主義化に社会を適合させていく「タイ王国の現代化」、および国王の「足るを知る経済」に対抗する「儲かる農業」の下、タイの経済構造がドラスティックに変容したとされる（末廣[2009]）。今回のフィールドスクールではこうした変容が地方にもたらした地域住民への影響を学んだ。訪問したタイ北部の農村では、民間の大企業によるみかんプランテーションの展開が、外部から労働者を持ち込んだだけでなく、土地の所有権をめぐる紛争や農薬散布による土地の劣化をもたらし、地域住民の社会経済に多大な影響をもたらした。この現象は、石炭産業やオイルパーム・プランテーションの展開を、国を挙げて進めているインドネシアのスマトラやカリマンタンなどの各地方の状況と類似している。このように、東南アジア諸国の各地方で自由主義経済のもたらす負の側面が同時進行しており、かつその問題が類似していることは、本報告者にとっては新しい発見であった。

同時に、地域への深い知識と熱い情熱、そしてそれらに導かれる冷静な分析は、地域に携わる上で欠かせない要素であることを、現地 NGO の方々から学んだのは大きな収穫であった。

ただ、地域社会の抱える問題について考える際に、主体たる住民やそれを支援する NGO のみならず、行政を担う地方政府や社会経済に大きな影響を持つ民間企業からもヒアリングできれば、今回の議論はより一層深まったように思う。



タクシン派政党の街宣車（2010年9月17日、チェンマイ近郊）

フィールドスクールで学んだことをどのように研究テーマに活かせるか？

インドネシアの経済・通商政策において自由主義をめぐる政治的対立がどのようなものであったかを分析していく本報告者は、フィールドスクールでは地域社会への影響という視点を養った。

冷戦崩壊後、自明の主たる経済原理となった自由主義経済は、経済のグローバル化とも相俟って 90年代後半から相次ぐ経済危機や金融危機をもたらし、東南アジアの各地で地域の社会経済に多大な影響をもたらした。とはいえ、経済のグローバル化と自由主義は今後も主たる経済原理として機能していくと思われる。

こうした認識の下で、本報告者が各政治経済アクターの動向が地域住民にどのような影響を与えるようになったのかを意識した研究が報告できるようになれば、このフィールドスクールで受けた恩恵は極めて大きい。

参考文献

- Andrew Rosser. 2002. *The Politics of Economic Liberalization in Indonesia: State, Market, and Power*. Richmond, Surrey (UK): Curzon Press

Koichi Kawamura, 2008, Indonesia's Development Policy in Historical Perspective. Background Paper No.2 for JICA-IDE Joint Workshop on Indonesia's Development Strategy and Future Direction of JICA's Assistance in Indonesia, Jakarta, Indonesia

R. Robison. 1987. *The Rise of Capital*. 木村宏恒訳『インドネシア：政治・経済体制の分析』三一書房

R. Robison and V. Hadiz. 2004. *Reorganizing power in Indonesia: the Politics of an oligarchy in an age of Market*. Routledge Curzon/ University of Hong Kong. Southeast Asian Studies 3

末廣昭.2009.『タイー中進国の模索』岩波新書